

気仙沼 皆上

はしかみ 観光ガイドマップ

気仙沼 茶豆

「気仙沼茶豆」は通常の枝豆にくらべ香りが高く、甘みが強いことが特徴。普通の枝豆には一つの枝に3枚の葉がついていますが、気仙沼茶豆には5つの葉がついていて地域特有の品種として長く栽培されています。
収穫時期：9月中旬～9月末まで 約2週間

いちご

「気仙沼いちご」は甘みだけでなく、程よく酸味があって甘みと酸味のバランスがいいのが特徴。陸上地区は、夏季冷涼・冬季温暖、冬場の日照時間が長く、太陽光をたっぷり浴びさせて育てることができ、気候を生かして毎年たくさんのいちごを栽培出荷しています。
収穫時期：10月中旬～1月末まで

わかめ

三陸海岸は親潮と黒潮がぶつかり合う「混合水域」で、栄養豊富なプランクトンが多く発生し、多くの魚が集まり世界三大漁場といわれています。その三陸海岸で養殖されるわかめも栄養を豊富に含み、肉厚でやわらかく、かつ弾力があり、心地よい歯ごたえがよいわかめが育ちます。
旬：1～4月

牡蠣

気仙沼産の牡蠣は、1年で10月から12月の3ヶ月しか漁を行わないため、その希少性と品質から築地市場でも高値を維持する最高級ブランド牡蠣です。強い競争意識を持ち生産者同士が切磋琢磨しながら、一粒一粒愛情込めて育てています。
旬：10～12月

岩井崎の塩

岩井崎塩づくり体験館にある平釜で観光協会の有志が手塩にかけて作っています。ミネラルが豊富でふんわりきめ細かくまろやかな味です。

菖蒲沢

いにしえの水辺
岩井崎インターそばに見える大きなため池。1547年(天文16年)、村が農業用の池をつくり、菖蒲沢のため池となりました。以来このため池は陸上地区を潤してきました。気仙沼では珍しい淡水の大きな池であり、市民の憩いの場として親しまれています。

白鳥

晩秋になると多くの白鳥が飛来してきて、菖蒲沢で冬を越し、春先になると北へと帰っていきます。間近で白鳥を見られるスポットです。

ゴルフ場からの眺め

気仙沼カントリークラブからは、陸上地区と太平洋を一望できます。気仙沼湾から遠く、金華山まで見渡せる海洋の景観は素晴らしいです。

桜

気仙沼の隠れた桜の名所で静かに桜を見たい人におすすめ。きれいな水面に反射する桜は絶景です。

岩井崎IC

宮古方面からは岩井崎ICをご利用下さい。
岩井崎ICは宮古方面出入口のみのパーキングです。また中型・大型・特大型車流出不可となっています。

命を救ったケヤキ

旭崎と呼ばれる岬では8名がはしごを使ってケヤキの木に登り津波をやり過ごし一命をとりとめました。このケヤキの木は、明治三陸大津波の後、「樹木は命を救う」との考えから、植えられたものだそうです。

お伊勢浜 みんなの広場・駐車場

お伊勢浜海水浴場の再間に併せてトイレ・シャワールーム・更衣室・駐車場が整備されている広場です。

杉ノ下地区 慰霊碑

東日本大震災では、杉ノ下地区の高台を津波が襲い避難した多くの方が犠牲になりました。襲った津波の高さは約18mと言われています。2012年3月、「杉ノ下連合会」により、避難場所だった高台に建立された慰霊碑には、子どもから高齢者までの計93名の名前、「絆 あなたを忘れない」と題するメッセージ、震災の爪痕の記録、そして、次の教訓が刻まれています。

海の殉難者 慰霊塔

海と共に生活してきた気仙沼市では、震災以外でも多くの漁業者が海の事故で亡くなっています。「海の殉難者慰霊塔」には、約600柱(2018年9月時点)が祀られており、毎年9月26日には「海の殉難者追悼慰霊法要」が行われています。

道の駅 大谷海岸

はまな寺海洋館
道の駅大谷海岸はまなすステーション
令和3年9月オープン



みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイルです。その最大の魅力は、海の景観をダイナミックに感じるスポットの豊富さ。自然が織りなす圧倒的な美しさのなかで、潮風にゆられながら進む、忘れられない感動を味わってください。

ジオパークとは、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。岩井崎を含む三陸ジオパークは平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して気仙沼市までです。

龍の松

岩井崎の先端部に立つ「龍の松」は津波によって幹や枝などに被害を受けたものの、残った姿が龍に見えることから「龍の松」と名付けられました。岩井崎から堂々と太平洋を見渡している「秀の山像」と「龍の松」は、気仙沼市民の復興のシンボルとなっています。

秀の山 雷五郎像

気仙沼市陸上地区出身の「第9代横綱 秀の山 雷五郎」は、小兵力士(身長164cm、体重158kg)でしたが、努力の結果38歳で横綱まで上り詰めました。岩井崎にある「秀の山像」は大横綱の名にふさわしく、東日本大震災の大津波にも耐え、立ったままの姿で残っています。

夕日撮影スポット

秋(10月下旬から11月中旬頃)には龍の松にある空から夕日が差し込む光景が見られることがあります。その姿はまるで、龍の目が赤く光るよう見えます。

お伊勢浜海水浴場

震災直後、砂浜は流失し松林はすべて津波に呑み込まれ荒涼たる風景になってしまいましたが、防波堤・養浜工事が施され、現在は震災前の穏やかな波と遠浅の砂浜がよみがえりました。2021年夏には10年ぶりに、海水浴場として再オープン予定です。

お伊勢浜海水浴場

お伊勢浜海水浴場から眺めるサンセットは絶景。ここが東北だということを忘れる美しさです。

岩井崎

潮吹き岩

波が打ち寄せるたびに、波と空気の圧力が潮を吹き上げ、何メートルもあがるダイナミックな光景が見られます。

朝日撮影スポット

岩井崎から望む太平洋の水平線より昇る朝日は自然の雄大さを体感できます。潮吹きや秀の山とセットで撮影したり、冬場は稀に霧嵐が発生し幻想的な風景が見られます。

灯台

岩井崎灯台は、白亜の小型灯台です。この灯台は、1929年(昭和4年)の初点灯から、現在も湾内を見守り続けています。

磯

石灰岩が壁となり波が直接たらず穏やかなため「自然のプール」感覚で小さいお子様も楽しめます。潮だまりの中にある生き物を観察したり化石の観察、釣りに水遊び・ファミリーにオススメです。

希少海浜植物保護エリア

防波堤工事によって失われそうだった絶滅危惧種を含む希少海浜植物を採取してお伊勢浜海水浴場の杉ノ下門近くに海浜植物保護エリアを設けて保護しています。ハマサジ、ハマナデシコ、ハマボツツ、ハマヒルガオ...などが見られます。

夕日撮影スポット

お伊勢浜海水浴場から眺めるサンセットは絶景。ここが東北だということを忘れる美しさです。

杉ノ下地区 慰霊碑

東日本大震災では、杉ノ下地区の高台を津波が襲い避難した多くの方が犠牲になりました。襲った津波の高さは約18mと言われています。2012年3月、「杉ノ下連合会」により、避難場所だった高台に建立された慰霊碑には、子どもから高齢者までの計93名の名前、「絆 あなたを忘れない」と題するメッセージ、震災の爪痕の記録、そして、次の教訓が刻まれています。

海の殉難者 慰霊塔

海と共に生活してきた気仙沼市では、震災以外でも多くの漁業者が海の事故で亡くなっています。「海の殉難者慰霊塔」には、約600柱(2018年9月時点)が祀られており、毎年9月26日には「海の殉難者追悼慰霊法要」が行われています。

道の駅 大谷海岸

はまな寺海洋館
道の駅大谷海岸はまなすステーション
令和3年9月オープン